

維持管理・環境管理専門委員会の活動

【目次】

活動報告概要	P 2
1. 2020年度の維持管理活動の概要と2021年度の活動計画（案）	P 4
2. 2020年度の保全管理活動の概要と2021年度の活動計画（案）	P 16
3. エコロジカルネットワークの取り組みについて	P 27
4. 協議会協力者への身分証の発行について	P 31
5. ニホンジカについて	P 33

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

活動報告概要

- 第50回協議会(2020年2月6日)以降、維持管理・環境管理専門委員会を2回、維持管理作業を8回実施しました。
- 維持管理、保全管理、マーケットリサーチ、エコロジカル・ネットワークの取り組み等について協議を行いました。

区分		日時	場所
会議	第40回※1	2020年 8月12日	上尾市文化センター
	第41回※1	2020年12月 3日	
現地	維持管理作業※2	2020年 4月15日	中池
		2020年 5月13日	上池、中池
		2020年 6月17日	中池、下池
		2020年 9月 9日	中池
		2020年10月14日	中池
		2020年11月11日	上池、中池
		2020年12月 9日	中池、下池
		2021年 1月 8日	中池

※1 イベント実行委員会と合同開催

※2 このほかに事務局や本田航空による維持管理作業も実施しています。



第41回(2020年12月3日)



維持管理作業(2021年1月8日)

活動報告概要

主な報告・提案・発議事項

区分	内容	参照ページ
報告	・維持管理活動は、前回協議会で承認された計画を基本とし、現地状況や外部連携の予定にあわせて実施しました。	P5－P10
	・保全管理活動は、コロナ禍にあって予定の多くは中止となりましたが、東京デザイン専門学校、川島町立つばさ北小学校、埼玉県立桶川西高等学校と連携した活動を行いました。	P17－P21
提案	・今年度に準じて2021年度の維持管理活動計画を提案します。	P15
	・今年度に準じて2021年度の保全管理活動計画を提案します。	P23
	・エコロジカル・ネットワーク形成の一環として前回協議会で承認されたサクラソウ移植について、中池を対象に2021年2月24日（予備日26日）に実施することを提案します。	P27
	・外部協力者の現地活動を推進するため、協力者に対して「身分証」を発行することを提案します。	P29
発議	・現地で確認されているニホンジカに対する協議会の見解について検討する必要があります。	P32

1. 2020年度の維持管理活動の概要と2021年度の活動計画（案）

1. 2020年度の維持管理活動計画

● 2020年度は以下の維持管理活動を実施しました。

➤ 上池

- ・呑口（2箇所）は、ゴミの除去や周辺の除草を出水期前と台風シーズン前に予定通り実施しました。
 - ・旧流路整備地は、オオカワヂシャが増加傾向にあるため、継続して除去を行いました。
 - ・モトクロス場跡地整備地はオオカワヂシャ、アレチウリ、ハリエンジュ等を除去しました。2019年度の工事で伐根したシンジュの再繁茂は見られませんでした。
- また、通路については春～秋にかけて本田航空が適宜実施しました。

➤ 中池・下池

- ・中池では保全エリア・通路について継続して外来植物の除去を実施しました。
- ・つばさ北小のフィールドに加えて、サクラソウ移植候補地については当初予定に追加して除草を実施しました。
- ・下池では予定通り2回実施しました。

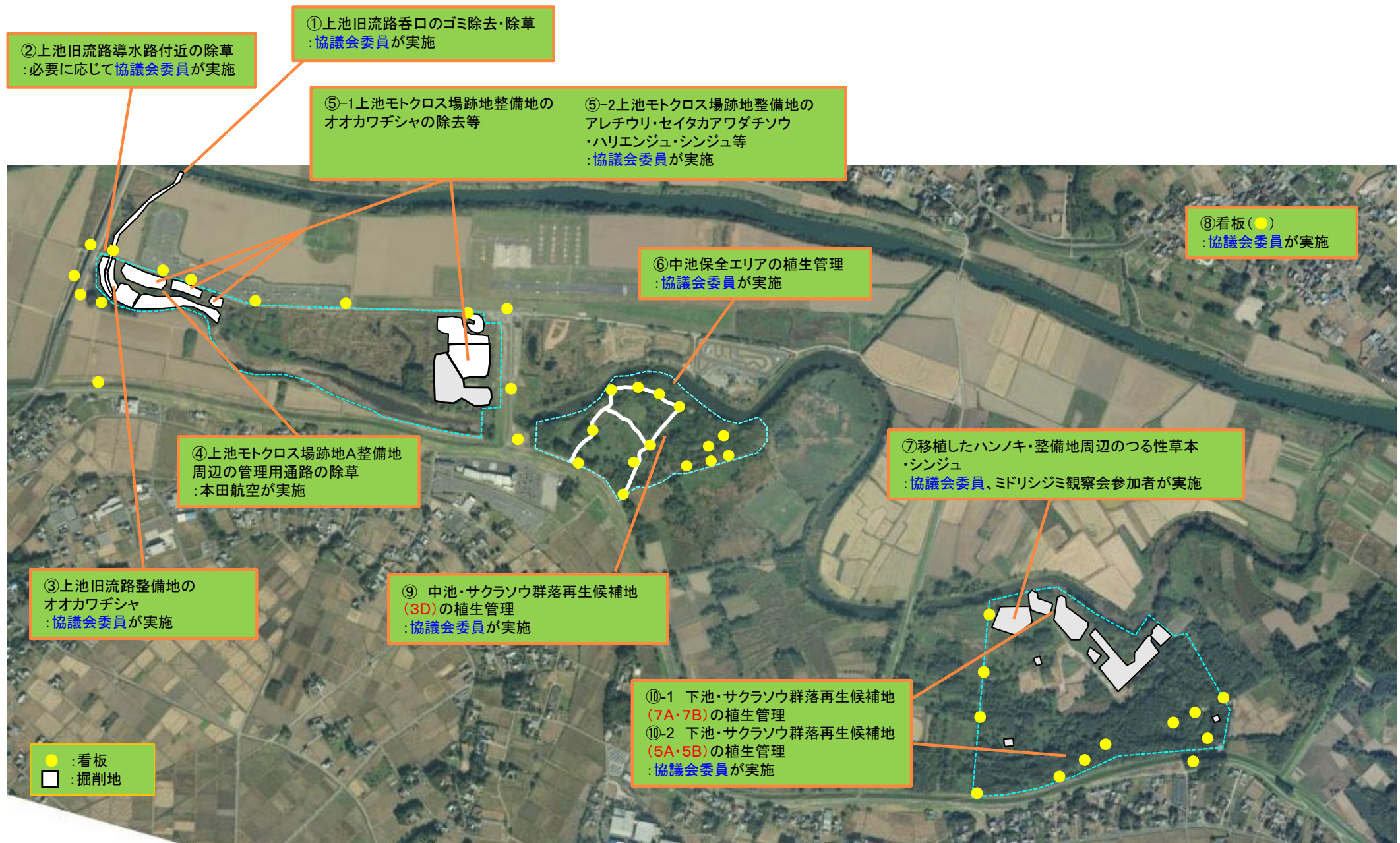
< 2020年度の維持管理計画と対象箇所 >

協議会委員による維持管理作業は2012年から行われています。

※表中 赤文字は当初予定からの変更箇所、緑文字はサクラソウ群落再生候補地番号

地区・管理対象			維持管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
上池	旧流路整備地	①呑み口	ゴミ除去・周辺の除草：5月、9月の2回（出水期前と台風シーズン前）		13日 (水)	実施			9日 (水)							協議会実施
		②導水路	通路付近の除草：5～6月と10月の2回 計40m（通路両側各20m）						実施							必要に応じて協議会実施
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月の開花時期に1回		13日 (水)	実施										協議会実施
	モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草（5～6月、10月など）モトA周囲	● 草刈り機	31日 (日) トラクター	● 草刈り機	26日 (日) トラクター	● 草刈り機	13日 (日) トラクター	26日 (月) トラクター						本田航空が適宜実施
		⑤-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月の開花時期に1回	<-----	13日 (水)	実施										協議会実施
		⑤-2 整備地	植生管理（オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等）：4月・6月・9月・11月	モトA ・モトD全般等	15日 (水) ハサエシ ジュ	17日 (水) ハサエシ ジュ			9日 (水) アレチウ リ		11日 (水) ハリエン ジュ					協議会実施
中池	河畔林	⑥保全エリア・通路	植生管理（オオブタクサ、シンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採）：4月・5月・6月・9月・10月	15日 (水) 実施	13日 (水) 実施	17日 (水) 実施		6日 (木) 7日 (金) 実施	9日 (水) 実施	14日 (水) 実施	11日 (水) 実施	9日 (水) 実施				協議会実施 7月、8月につばさ北小のフィールドを適宜実施（事務局） 8月に中池で除草（維持工事）を実施
	サクラソウ群落再生候補地	⑨ 再生候補地 3D	植生管理（移植候補地の外来植物除草・ヨシ・タケの伐採等）：4月・5月・6月・9月・10月 冬刈り：12月 サクラソウ移植：2-3月	15日 (水) 実施	13日 (水) 実施	17日 (水) 実施		13日 (木) 実施	9日 (水) 実施	14日 (水) 実施	11日 (水) 実施	9日 (水) 実施	8日 (金) 実施	24日 (予)26 日：移植		協議会実施 8月は事務局のみで実施
下池	ハンノキ移植地	⑦実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュの除去：6月2回（イベントと会場準備）・12月			17日 (水) 20日 (土) 実施	実施					9日 (水) 実施				協議会実施 6月20日はミドリシジミ観察イベント（中止）
	サクラソウ群落再生候補地	⑩-1再生候補地 7A・7B	植生管理（移植候補地の外来植物、つる性草本等の除草）：6月 植生管理（移植候補地の冬刈り）：12月			17日 (水) 実施						9日 (水) 実施				協議会実施
		⑩-2再生候補地 5A・5B	植生管理（移植候補地の冬刈り）：12月			実施						9日 (水) 実施				必要に応じて協議会実施
全体	⑧看板		看板周辺の除草：イベント前に適宜対象箇所を実施	<-----												協議会実施
	維持管理検討のための巡視		巡視ルートを巡視し、維持管理活動の内容を検討する										20日 (水) 実施		予定	協議会実施

1. 2020年度の維持管理活動計画



空中写真は荒川上流河川事務所撮影
(2018年12月27日撮影)

※①～⑩：前頁の表と対応

2. 2020年度の維持管理活動報告

●対象：上池呑口およびモトクロス場跡地整備地

1) 上池呑口

堆積土砂の除去、アレチウリ除草を実施しました。

(2020年5月13日、9月9日実施)

作業前後

上池呑口の作業前



作業状況

上池呑口の作業状況



2) モトクロス場跡地整備地

アレチウリ、オオブタクサ、ハリエンジュの除草・伐採を実施しました。

(2020年5月13日、9月9日、11月11日実施)

作業前後

モトクロス場跡地Aの作業前



モトクロス場跡地Aの作業前



2. 2020年度の維持管理活動報告

●対象：中池河畔林保全エリア・通路およびサクラソウ群落再生候補地

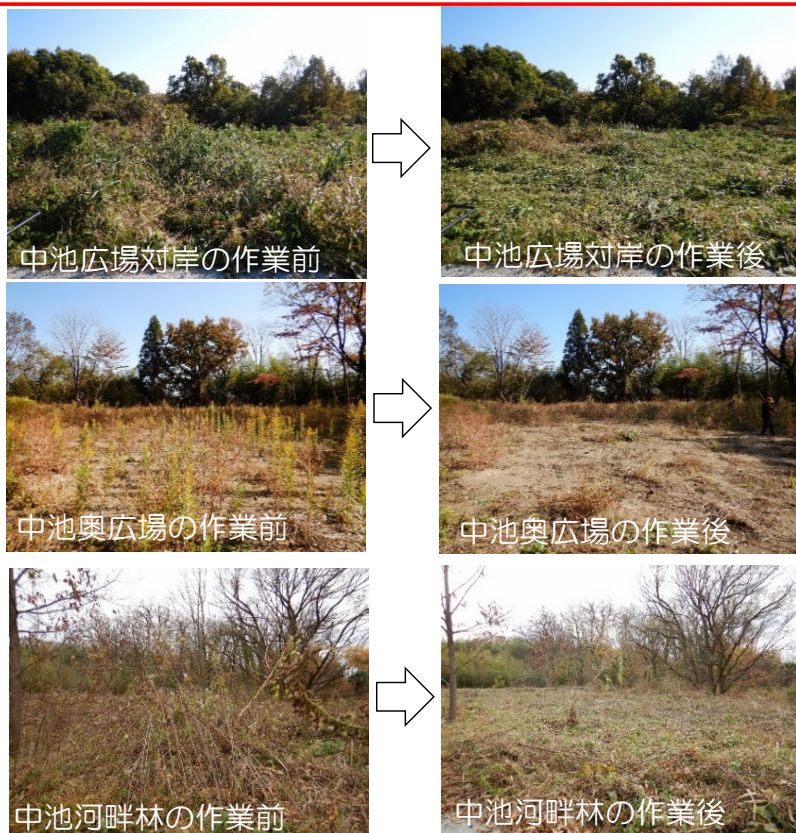
1) 中池河畔林保全エリア・通路

オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、タケ類の除草・伐採を実施しました。

(2020年4月15日、5月13日、6月17日、9月9日、10月14日、11月11日、12月9日実施)

つばさ北小フィールドに看板を設置しました。(2020年10月14日設置)

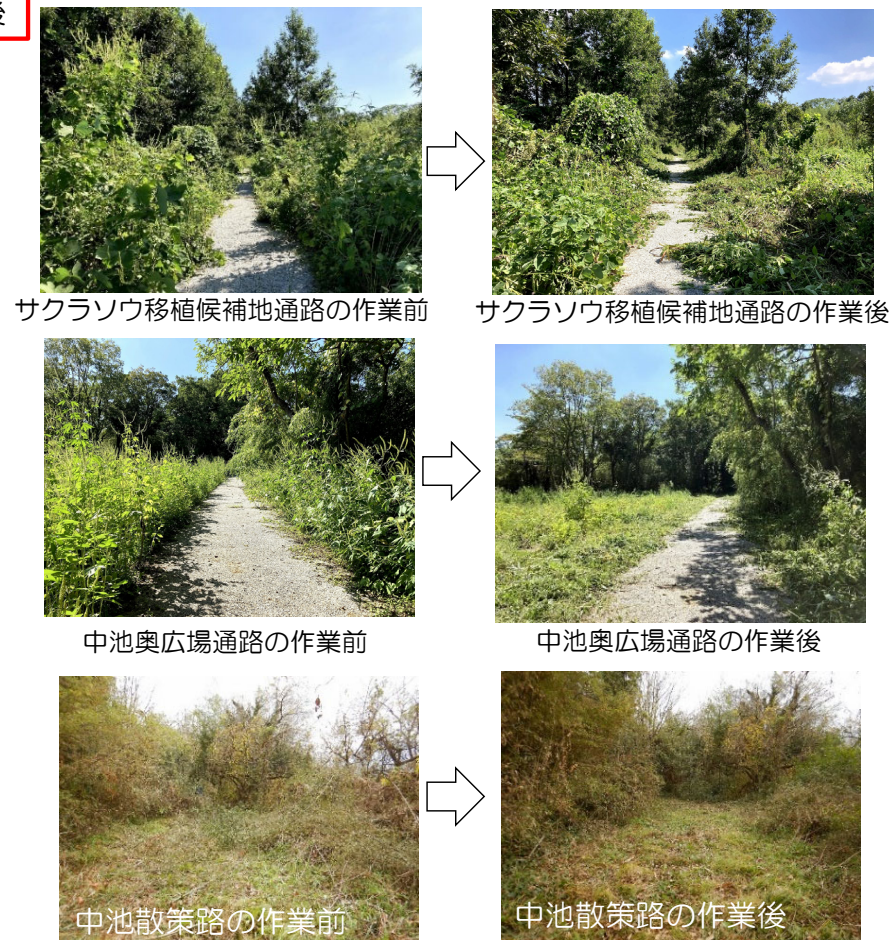
作業前後



作業状況



作業前後



2. 2020年度の維持管理活動報告

●対象：中池河畔林保全エリア・通路およびサクラソウ群落再生候補地

2) サクラソウ群落再生候補地

ヨシを対象に除草を実施しました。（2020年4月15日、6月17日、9月9日、10月14日、11月11日、12月9日、2021年1月8日実施）

作業前後



作業状況



2. 2020年度の維持管理活動報告

●対象： 下池整備地

- ・移植したハンノキに覆い被さっているアレチウリやクズ、およびセイタカアワダチソウとシンジュの除草を実施しました。
(2020年6月17日、12月9日実施)

作業前後



ハンノキ移植地の作業前



ハンノキ移植地の作業後



下池整備地の作業前



下池整備地の作業後

作業状況



ハンノキ移植地の作業状況



下池整備地の作業状況

3. 今後の維持管理活動について

- 当面の間に目指す自然再生地の目標像とそれを実現するための維持管理活動、重点管理区域と粗放的管理区域などゾーニング区分を明確にして各ゾーンの維持管理項目（時期・内容・必要な労力など）を整理した「維持管理計画（案）」を検討します。
- 今回は（１）ゾーニング区分と目標設定についてご議論いただき、次回は（２）各ゾーンの維持管理と（３）実施体制についてご議論をお願いいたします。

➤ 維持管理計画（案）における検討項目

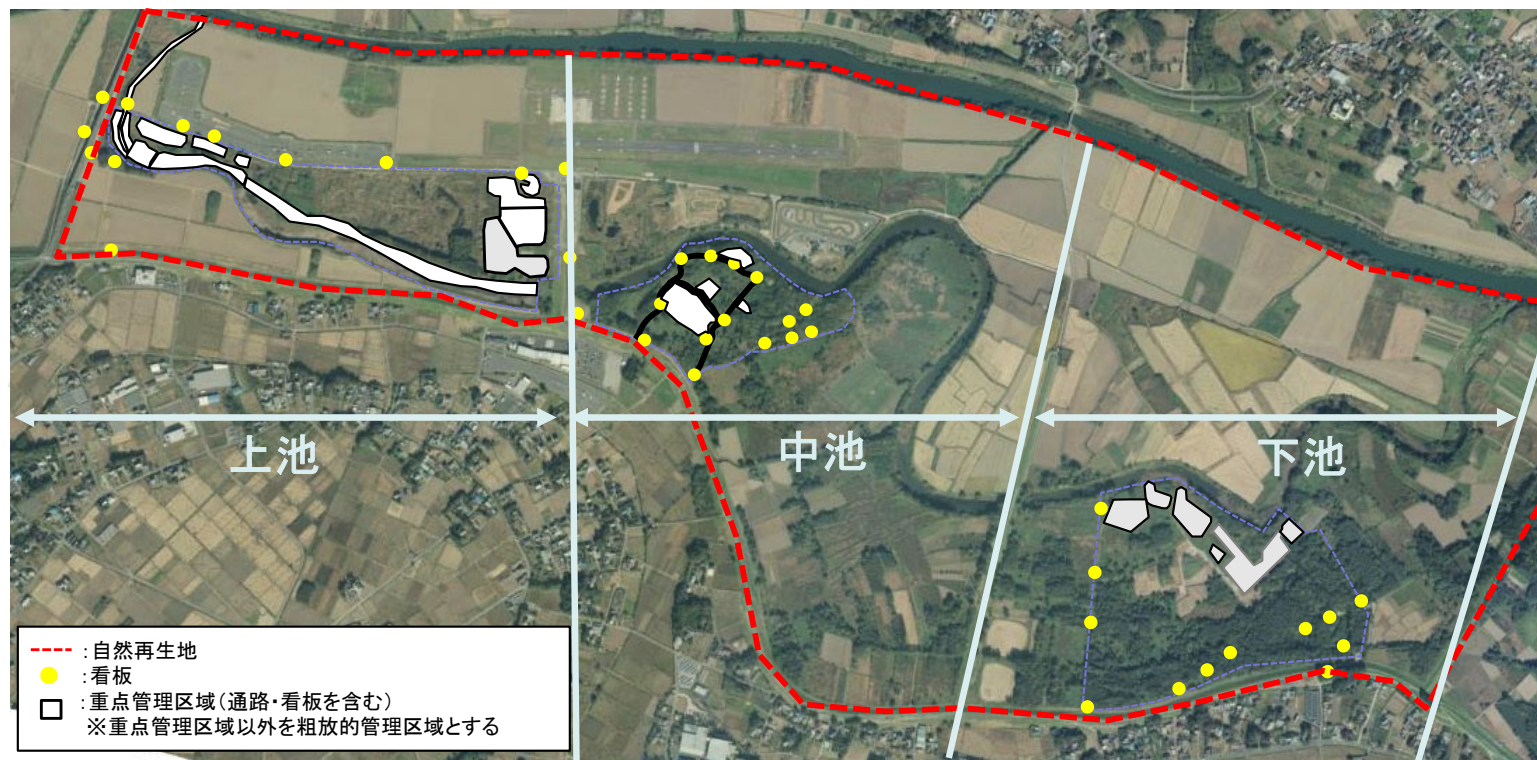
（１）ゾーニング区分と目標設定：「重点管理区域」と「粗放的管理区域」の明確化と目標設定

※重点管理区域は、これまで維持管理・環境管理専門委員会において定期的に維持管理を実施してきた箇所を位置づける。

※粗放的管理区域は、それ以外の区域とする。

（２）各ゾーンの維持管理：①現状、②目標、③作業内容とスケジュール、④留意点

（３）実施体制：維持管理・広報・調査研究・資金的支援の分担

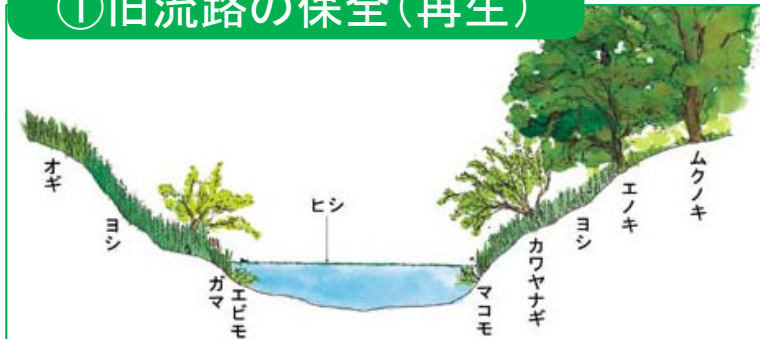


空中写真は荒川上流河川事務所撮影（２０１８年１２月２７日撮影）

3. 今後の維持管理活動について

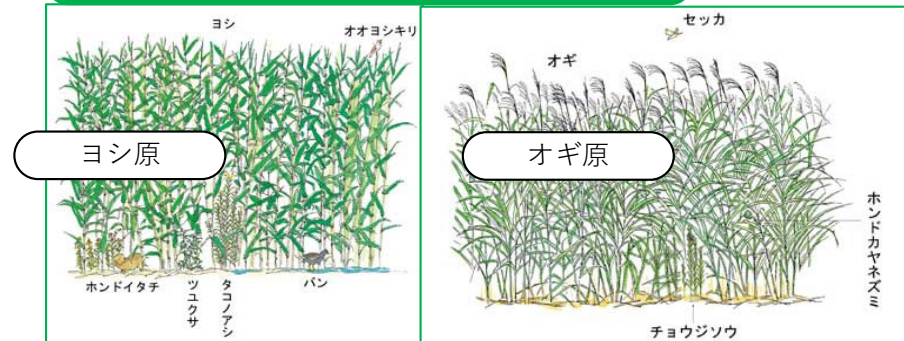
- 上池のゾーニングと目標像（案）
- ◆構想：「旧流路の保全（再生）」
「湿地及び止水環境の拡大」
- ◆確認されている目標種： **非表示**

①旧流路の保全（再生）



周縁部の外来種を除去し、**一部非表示** が生息する水面環境を維持する。

②湿地及び止水環境の拡大



周縁部に外来種が侵入・増加しているため、除去作業を継続し、土壌の水分状況に応じて、ヨシやオギを中心とした湿地環境を維持していく。



③旧流路の保全

一部非表示 が生育する水面・湿地環境を維持していく。
※外来種も侵入しているが年変動が大きく、目標種の生育を妨げる状況は認められないため、当面は見守っていく。

重点管理区域の位置図

重点管理区域：枠囲み範囲
（呑口・通路・看板を含む）
粗放的管理区域：それ以外の範囲

3. 今後の維持管理活動について

●中池のゾーニングと目標像（案）

◆構想：「河畔林の保全」

◆確認されている目標種： 非表示

①チガヤ群落



外来種の再繁茂が見られるため、「在来種による草地環境の形成」を促し、ギンイチモンジセセリなど乾性草地に生息する希少な生きものが繁殖する場とする。

②オギ群落



オギ群落周辺に外来種の再繁茂が見られるため、「オギ原の形成」を促し、ホンドカヤネズミやオオヨシキリなどの生息空間とする。

③サクラソウを中心とした湿性草地



大型草本が優占種となっている中池湿地を「サクラソウ群落の形成」を促す。また、浅い水辺などに生息するトウキョウダルマガエルなど生息環境を維持する。

④河畔林と河原草地



水際のシンジュ伐採跡地は、1) 水辺へのアクセス性を活かし低茎草地（河原草地）の育成、また、2) クヌギ林などの河畔林を育成し、オオムラサキなどの生息環境を維持する。

中池（荒川旧流路）→

中池（入口）

重点管理区域の位置図

重点管理区域：枠囲み範囲
（通路・看板を含む）
粗放的管理区域：それ以外の範囲

3. 今後の維持管理活動について

●下池のゾーニングと目標像（案）

◆構想：「河畔林の保全・再生」

◆確認されている目標種： 非表示



①幼木の移植や種まきを実施する箇所
（過去に移植した幼木が定着）



②幼木生産の箇所



③幼木生産の箇所



重点管理区域の位置図



④水位が高く当面見守る箇所

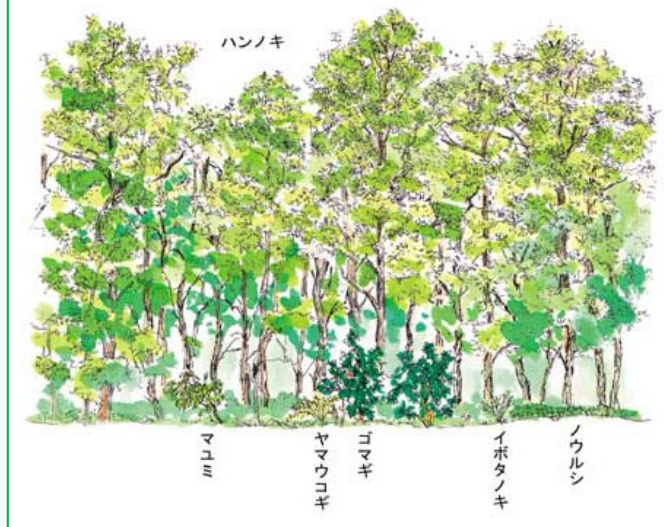


⑤水位が高く当面見守る箇所



⑥水位が高く当面見守る箇所

ハノキ林の再生



- ・ハノキの幼木の移植や種まき等を通じて、ミドリシジミやオオミズアオ等が生息するハノキ林を再生する。ただし、水位が高い箇所については、当面見守ることとする（黄枠）。
- ・一部は幼木生産の場とする（橙枠）。

4. 2021年度の維持管理活動計画（案）

- 2021年度はおおむね2020年度と同様に以下の維持管理活動を実施する予定です。
前記の今後の方向性や現地状況に応じて適宜調整して実施します。なお、1/20に予定した巡視を延期したため、巡視後に見直します。
- 上池
 - ・事業で目標としている種の再生や問題となる種の抑制のそれぞれを考慮し、優先順位を検討しながら対応します。
 - 中池
 - ・各エリアごとの利用の考え方を考慮し、優先順位を検討しながら対応します。
 - 下池
 - ・ハンノキの育成状況や観察会の利用などを踏まえて、適宜実施します。

＜2021年度の維持管理計画と対象箇所＞				協議会委員による維持管理作業は2012年から行われています。				緑文字はサクラソウ群落再生候補地番号									
地区・管理対象			維持管理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
旧流路 整備地	①呑み口	ゴミ除去・周辺の除草：5月、9月の2回（出水期前と台風シーズン前）			12日 （水）					8日 （水）							協議会実施
	②導水路	通路付近の除草：5～6月と10月の2回 計40m（通路両側各20m）															必要に応じて 協議会実施
	③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月の開花時期に1回			12日 （水）												協議会実施
上池	④通路	管理用通路の除草（5～6月、10月など）モトA周囲															本田航空が適宜実施
	⑤-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月の開花時期に1回		←-----	12日 （水）	-----		-----			-----	-----	-----	-----	-----	-----	協議会実施
	⑤-2 整備地	植生管理（オオバタクサ、アレチウリ、 セイタカアワダチソウ、シンジュ、 ハリエンジュ、クワ、 在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等） ：4月・6月・9月・11月	モトA ・モトD全般等	14日 （水） ハリエン ジュ		16日 （水） ハリエン ジュ			8日 （水） アレチウ リ		10日 （水） ハリエン ジュ						協議会実施
中池	⑥保全エリア・通路	植生管理（オオバタクサ、シンジュ、クワ、 在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採） ：4月・5月・6月・9月・10月		14日 （水）	12日 （水）	16日 （水）			←-----→ 8日 （水） 30日 （木）		10日 （水）						協議会実施 7月、8月につばさ北 小のフィールドを適 宜実施（事務局）
	⑨ 再生候補地 3D	植生管理（移植候補地の外来植物除草・ヨシ・タケの伐採等） ：4月・5月・6月・9月・10月 冬刈り：12月		14日 （水）	12日 （水）	16日 （水）			8日 （水） 30日 （木）		10日 （水）	8日 （水）					協議会実施
下池	⑦実施計画 範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュの除去：6月2回（イベ ントと会場準備）・12月				16日 （水）							8日 （水）				協議会実施 6月19日はミドリシジ ミ観察イベント
	⑩-1再生候補地 7A・7B	植生管理（移植候補地の外来植物、つる性草本等の除草）：6月 植生管理（移植候補地の冬刈り）：12月				16日 （水）							8日 （水）				協議会実施
	⑩-2再生候補地 5A・5B	植生管理（移植候補地の冬刈り）：12月											8日 （水）				必要に応じて 協議会実施
全体	⑧看板	看板周辺の除草：イベント前に適宜対象箇所を実施		←-----		-----		-----			-----	-----	-----	-----	-----	-----	協議会実施
	維持管理検討のための 巡視	巡視ルートを巡視し、維持管理活動の内容を検討する												19日 （水）			協議会実施

15

2. 2020年度の保全管理活動の概要と2021年度の活動計画（案）

1. 2020年度の保全管理活動計画

●2020年度は以下の保全管理活動を実施しました。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケット リサーチ				18日(木) : S財団 (理事会)					10日(火) : 本田航空 17日(火) : Tコーヒー 25~28日(アーカ イフ)~12/25 : エコプロ2020 オンライン開催 (各自視聴)	10日(木) : Tコーヒー			
協働・ 連携	つばさ北 小学校		上旬 : 環境学習① : 環境学習② (延期、中止)	環境学習① 29日(月)			29日(火) : 環境学習③ (中止)				● : 環境学習④ (2月に変更)	環境学習② 24日(水) 予備日26日(金) : (サクラソウ移植)	
	学校関係 桶川西高	29日(祝・水) かわしま輪中の郷 ウォーキング (中止)	(おけがわ春のふれあ いフェスタに別途出 展) (中止)					17日(土) →18日(日) 秋イベント : 科学部・ 放送部協力依頼	23日(祝・月) 川島町農業商工祭 : 科学部協力依頼 (中止)				
	専門機関 東京大学							下旬 : 成果発表→15 日(木) : オリエンテーション	26日(木) : 成果発表	下旬 : 表彰式			
	NPO・ 民間企業 等	20日(月)午後 : (株)サイサン 新入社員研修 (中止)	● : 大和ハウス工業 (株) 地域共生活動 (延期)	17日(水) : OREC (乗用車刈り機試乗)		15日 : (公財)サ イサン 環境保全基金 助成申請〆切	● : 上尾ものつ くり 協同組合 社会貢献活動 (中止)		10日(火) : 本田航空(株) ● : 大和ハウス工 業(株) 地域共生 活動(中止)				

2. つばさ北小学校

- 荒川の草花を育てようプロジェクト～荒川太郎右衛門地区自然再生地～の取組について、今年度は新型コロナウイルスの関係で授業数を確保することが難しく、自然再生地での活動を行えなかったため、6月29日につばさ北小学校の校庭に荒川の草花を移植しました。
- 事務局で9月9日に学校の校庭に移植した植物の確認を行いました。
- 2月24日に中池サクラソウ移植地において、たねのお渡し式とサクラソウ等の移植を同時開催するとしました。

■つばさ北小学校の校庭に移植した植物

種名	
2019年	2020年
カワラケツメイ	キンミズヒキ
カワラナデシコ	クマツヅラ
メハジキ	
ユウガギク	



2019年に移植した区画（赤色枠）
2020年に移植した区画（水色枠）



ユウガギク開花の様子
（9月9日撮影）



キンミズヒキ結実の様子
（9月9日撮影）

- ユウガギク以外の5種類の種子を収穫（各種とも小ジップロック1袋程度）（11月9日電話ヒアリング）

- 中池つばさ北のフィールドにおいても移植した植物が生育しているのを確認しました。（8月13日時点）

■中池つばさ北のフィールドに移植した植物

種名
カワラナデシコ
メハジキ
カワラケツメイ
ユウガギク



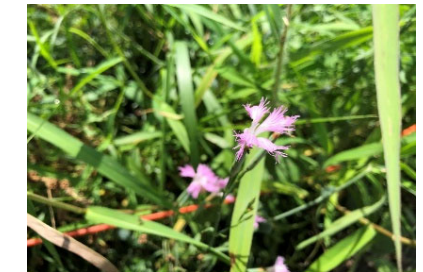
つばさ北のフィールド



メハジキ



カワラケツメイ



カワラナデシコ

3. 桶川西高等学校

- 10月18日（日）秋イベントに、放送部による司会進行と、科学部による出前水族館の展示・解説を実施して頂きました。
- イベント当日に配布した「たろうえもんすごろく」について、学校の水族館に訪れた人と共有したいと科学部から連絡があり、10部提供しました。
- 今後の連携について、高校が主体となり「ペットボトルびんどろ」を用いた水生生物観察会を開催することが可能との回答を得ています。後日、事務局にて現場確認したところ、中池エリアから旧流路へアクセスできる道を確認し、川岸に10人程度の滞留が可能でした。
- 今年度の秋イベントは学校の定期試験直前となったため、今後のイベント開催日は学校スケジュールに配慮する必要があります。

桶川西高等学校ホームページ

科学部

← 一覧へ

「親子で楽しくエッグハント」に出前水族館

投稿日時: 10/22 科学部 カテゴリ:

2020年10月18日（日）荒川太郎右衛門地区自然再生地主催のイベントに参加してきました！
昨年は台風19号の影響で中止となってしまったので、今年度が初めての参加です。



場所は荒川太郎右衛門地区自然再生地。本田航空の近く、荒川をはさんで桶川西高校と反対側にあります。
当日の参加者50名が4班に分かれ、エッグハントや昆虫観察、水生生物観察を順番にルートを決えて行いました。
我が桶川科学部は、そのうちの「水生生物観察」を担当し、桶川水族館で飼育中の魚や亀を展示しました。ずらっと並んだ18本の水槽のそばで、科学部員が外来生物と在来生物の視点から説明をすると、身近に生息している生き物がこんなにいるんだ！と歓声をあげたり水槽をジッと観察したり、亀を触って子どもたちの愛が印象的でした。








科学部員は翌日から中間考査というハードスケジュールでしたが、このイベントへの参加で、また一歩成長できたように感じます。




なお、当日の司会・進行は桶川西高校の放送部が行いました。放送部員もお疲れ様でした。

【番外編】
ハプニング！ ～「ウナギ」の大脱走～
展示していたニホンウナギが、準備中のドサクサにまぎれ、いつの間にか水槽のふたを押し上げ、逃げてしまいました。科学部員達の必死の捜索の甲斐あり、無事捕獲できました！ ホッ。





関係者の皆様、大変お騒がせいたしました<(_ _)>



放送部による司会



開会式



科学部による外来生物・在来生物等の
水槽展示・解説



科学部による外来生物
(ミシシippアカミミガメ・クサガメ) の展示

4. 東京デザイン専門学校

- テーマ : 「荒川太郎右衛門自然再生事業のプロモーション」について、デザインによる問題解決を行う。
- 課題 : デザインの力で「太郎右衛門自然再生地」の価値を高めることを目的に、企画からデザイン制作までを行う。
3つの課題から、各自選択して取り組む。※昨年はグループ課題、今年はWEB授業により個人課題となった。
- 受講者 : 東京デザイン専門学校ビジュアルデザイン科3年生26名(1クラス) ※昨年は36名2クラス
- 学生が選択する課題は3種類。個人で課題に取り組む。
 - 課題A 「中池」誘致の広告(看板デザイン)
 - 課題B ニューノーマルなイベントの企画デザイン
 - 課題C 太郎右衛門自然再生地のプロモーションビデオ制作
- 各課題から、優秀作品3作品程度を採用する。



11/26 成果発表
(Aグループはオンライン、Bグループは登校)

- 11月26日の成果発表は、教室参加とオンライン参加の2グループに分かれて、行われました。
- 協議会からは、堂本委員長に加え、事務局4名の計5名が参加しました。
- 発表課題は、課題Aは6提案(うち1名欠席)、課題Bは13提案(うち1名欠席)、課題Cは7提案でした。

■課題A: 「中池」誘致の広告(看板デザイン)

番号	提案タイトル	表彰候補
A-1	いきものマップ	
A-2	中池に行く! 看板デザイン	
A-3	子供向けのカラフル看板デザイン	優秀賞
A-4	たろえものの冒険(迷路)	優秀賞
A-5	荒川の再生(Rebirth of Arakawa) ゲーム風デザイン	
A-6	中池のいきものたちを見つけてみよう!	優秀賞

■課題C: 太郎右衛門自然再生地のプロモーションビデオ制作

番号	提案タイトル	表彰候補
C-1	たろえものの冒険	
C-2	Taroemon's Journal	優秀賞
C-3	参上!! 荒川太郎右衛門	
C-4	humble	
C-5	荒川の自然	
C-6	荒川太郎右衛門地区を知ろう!	優秀賞
C-7	荒川太郎右衛門の紹介動画	優秀賞

■課題B: ニューノーマルなイベントの企画デザイン

番号	提案タイトル	表彰候補
B-1	目指せ完成! 荒川の生き物ずかん写真ラリー	
B-2	巨大すごろく	優秀賞
B-3	たろえもんクイズラリー	
B-4	親子でなろう! 外来植物ハンター	
B-5	たろえもんといきものスケッチ	最優秀賞
B-6	荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画	優秀賞
B-7	自然を学びながら、オリジナルフォトカードが作れるイベント企画	
B-8	荒川を見てぬろう! 知ってぬろう! 「生き物ぬり絵」	
B-9	楽しく学んでスタンプを集めて「荒川太郎右衛門マスター」を目指そう!	
B-10	ワクワクたろえもんスタンプラリー	
B-11	いくつ見つかる? 生物クイズ	(欠席)
B-12	もっと荒川の生き物を知ろう! クイズハイキング	
B-13	「荒川 灯ろうまつり」たろえもんを灯せ	優秀賞

4. 東京デザイン専門学校

- 計10件を表彰しました。
- 課題Bは作品数が多いことから4件を選定しました。

2020東京デザイン専門学校・荒川太郎右衛門地区自然再生事業プロモーション提案の選考結果

【課題A：中池看板】

提案タイトル	概要	賞	選考理由
中池のいきものたちを見つけてみよう！	中池の生き物の生態系を紹介するデザイン	優秀賞	看板の中に11種類のいきものが描かれていて、自分の目で見てみたいと思う気持ちを引き出すアイデア・デザインが優れている。
子供向けのカラフル看板デザイン	子ども向けに視認性が高く、探しやすい生物の絵をデザイン	優秀賞	人目を引く手書きイラスト調のタッチで生き物が描かれていて、自然再生地で生き物を探したくなるシンプルなデザインが優れている。
たろえものの冒険（迷路）	自然再生地の地図に迷路を描き、上池から中池にたどり着くもの	優秀賞	中池への誘致を狙った迷路のアイデアや動物のキャラクターが小さな子どもでも関心を惹きつけやすいデザインが優れている。

【課題B：ニューノーマルなイベント企画】

提案タイトル	概要	賞	選考理由
たろえもといきものスケッチ	昆虫などの希少な動植物を探してスケッチを描き、みんなで荒川の生きもの図鑑をコンプリートする企画	最優秀賞	自由帳をモチーフに観察ノートやポスターのデザインが優れており、コンセプトが環境学習やイベントでの実現性が高い企画である。
巨大すごろく	スマホのGPS機能と既存アプリを活用して、現地ですごろくをしながら自然再生地を体験する企画	優秀賞	あらたなターゲット層を目的にスマホのGPSマップを使用した企画アイデアが優れている。イベントロゴやポスター等も目を惹くデザインである。
荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画	生きものや植物の「スナップショット」を撮影して、スクラップブックを作る企画	優秀賞	どの季節でも生き物の写真を撮りながら、スクラップブックを完成させて学べる企画が優れている。フライヤーやスクラップブックのデザインが探究心をいどかせるデザインとなっている。
「荒川 灯ろうまつり」 たろえものを灯せ	組み立て式の灯ろうを事前に配布し、あらかじめ着色してもらったものを現地に設置して鑑賞する企画	優秀賞	生き物や自然に関心がない人達を自然再生地に呼び込む企画アイデアが優れている。たろえもののイメージキャラクターをモチーフにした灯ろうキットやポスターのデザインが興味をいどかせるデザインである。

【課題C：プロモーションビデオ】

提案タイトル	概要	賞	選考理由
荒川太郎右衛門地区を知ろう！	自然再生の事業や取り組みや動植物を紹介するもの	優秀賞	テンポの良い音楽で3部作に構成されたモーショングラフィックは、一時も目を離すことができず、思わず引き込まれてしまうプロモーションである。
Taroemon's Journal	ドローンの映像を使いながら生き物写真を連続的に紹介するもの	優秀賞	ドローン映像により現地の状況をわかりやすく、自然再生地を擬似的に冒険しているようなプロモーションである。
荒川太郎右衛門の紹介動画	ドローンの映像と写真を組み合わせて自然再生地を紹介するもの	優秀賞	イベント、ボランティアによる維持管理活動の様子やそこにいる生き物を、バランスよく紹介しているプロモーションである。

4. 東京デザイン専門学校

【表彰作品】

■課題A：「中池」誘致の広告（看板デザイン）

企画提案	
子供向けのカラフル看板デザイン 	子ども向けに視認性が高く、探しやすい生物の絵をデザイン。
たろえものの冒険(迷路) 	自然再生地の地図を迷路に迷路を描き、上池から中池へとたどり着くもの。
中池のいきものたちを見つけてみよう！ 	中池の生き物を紹介するデザイン

中池看板設置予定箇所



中池看板(表側)



中池看板(裏側)

中池看板設置イメージ



中池看板(裏側)

4. 東京デザイン専門学校

【表彰作品】

■課題C：荒川太郎右衛門自然再生地のプロモーションビデオ制作

企画提案

Taroemon's Journal



ドローンの映像を使いながら
生き物写真を連続的に紹介
するもの

荒川太郎右衛門地区を知ろう！



自然再生の事業や取り組み
や動植物を紹介するモーショ
ングラフィック作品

荒川太郎右衛門の紹介動画



ドローンの映像と写真を組み
合わせて自然再生地を紹介
するもの

4. 東京デザイン専門学校

■課題B：ニューノーマルなイベントの企画デザイン

企画提案

巨大すごろく

自然の中でのんびりと
巨大すごろく

荒川太郎右衛門自然再生地を巡って、親子や仲間が自然を満喫できるイベントです。自然の中を歩きながら、自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。

2021.3.27(土)
10:00~12:00

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期間 3.19(日)まで
参加費 200円(保険代)
服装 長袖・長ズボン
持ち物 帽子・軍手・飲み物
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生地自然再生地協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 3-1-2
TEL: 049-220-0145 FAX: 049-247-9550 email: kkr-tanaka@nrc.go.jp
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生地協議会事務局
【協賛】 国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

「あまり昆虫や植物に詳しくない親子」という新しいターゲットに向けて、スマホGPS機能と既存アプリサービスを活用して、現地で実寸大のすごろくを楽しみながら自然再生地を体験する企画。



たろえもんといきものスケッチ

たろえもんと
いきものスケッチ

たろえもんと
いきものスケッチ

自然をコンプリートさせよう！

荒川にある希少種をさがしてスケッチをして、みんなで荒川いきもの図鑑を完成させよう！

タカラコ
カウセミ
ミドリシジミ
スナモリメダカ

あーから たろえもん
荒川太郎右衛門

イベント内容
「荒川太郎右衛門自然再生地」に生息している希少な生きものをさがして、スケッチしてみよう！
① 観察 ② 観察 ③ 観察 ④ 観察 ⑤ 観察 ⑥ 観察 ⑦ 観察 ⑧ 観察 ⑨ 観察 ⑩ 観察 ⑪ 観察 ⑫ 観察 ⑬ 観察 ⑭ 観察 ⑮ 観察 ⑯ 観察 ⑰ 観察 ⑱ 観察 ⑲ 観察 ⑳ 観察 ㉑ 観察 ㉒ 観察 ㉓ 観察 ㉔ 観察 ㉕ 観察 ㉖ 観察 ㉗ 観察 ㉘ 観察 ㉙ 観察 ㉚ 観察 ㉛ 観察 ㉜ 観察 ㉝ 観察 ㉞ 観察 ㉟ 観察 ㊱ 観察 ㊲ 観察 ㊳ 観察 ㊴ 観察 ㊵ 観察 ㊶ 観察 ㊷ 観察 ㊸ 観察 ㊹ 観察 ㊺ 観察 ㊻ 観察 ㊼ 観察 ㊽ 観察 ㊾ 観察 ㊿ 観察

すずめかた
① イベントレポートを見ていきものをさがして、スケッチしてみよう。
② 観察した生きものをスケッチ図鑑に記入したいきものをコンプリートしよう。

荒川太郎右衛門自然再生地とは？
「荒川太郎右衛門自然再生地」では、荒川の自然を再生し、自然再生地を創出しています。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。

たろえもんといきものスケッチ
2021.3/6(土) 10:00~13:00
9:30 受付開始 | 雨天延期

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
参加費 200円(保険代)
服装 長袖・長ズボン・帽子・軍手・足袋(色指定あり)
持ち物 飲み物
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。

お問い合わせ 荒川太郎右衛門自然再生地協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 3-1-2
TEL: 049-220-0145 FAX: 049-247-9550 email: kkr-tanaka@nrc.go.jp

荒川にある植物・動物・昆虫などの希少な動植物を探してスケッチを描き、みんなで荒川のいきもの図鑑をコンプリートさせる企画。季節ごとに生き物も変わるため、何度でもイベントを行えるメリットもある。

企画提案

荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画

荒川太郎右衛門自然再生地
**ネイチャー
スナップ
カメラマン**

2021年7月31日(土)
9:30~12:00

荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画

自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。

【申し込み・お問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生地協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 3-1-2
TEL: 049-220-0145 FAX: 049-247-9550 email: kkr-tanaka@nrc.go.jp

カメラを持って荒川太郎右衛門自然再生地を探索！生き物や植物の「スナップショット」を撮影して、スクラップブックを作るイベント

ニホンアマガエル カワラナデシコ

自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。

【申し込み・お問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生地協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 3-1-2
TEL: 049-220-0145 FAX: 049-247-9550 email: kkr-tanaka@nrc.go.jp

「荒川 灯ろうまつり」たろえもんを灯せ

荒川
灯ろうまつり
たろえもんを灯せ

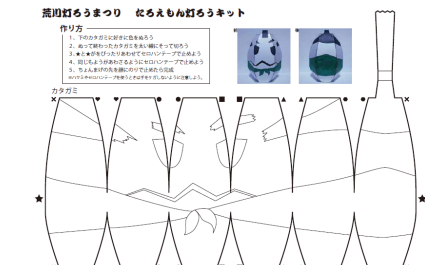
荒川をみんなの
たろえもん灯ろうで照らそう！

2021.9/11(土) 17:30~21:00
9:00 受付開始 17:30 点灯開始 翌日延期 雨天中止

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期限 8/31(日)まで
服装 長袖・長ズボン・灯ろう・マスク
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。自然再生地の様子や生き物の生態を学びます。

【申し込み・お問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生地協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 3-1-2
TEL: 049-220-0145 FAX: 049-247-9550 email: kkr-tanaka@nrc.go.jp

灯ろうを作り荒川の自然再生地に設置し、鑑賞をしてもらう企画。イベント告知と同時に灯ろうキットを配布もしくは、人が集まる場所に設置して自ら持って帰ってもらい、事前に灯ろうを各家庭で作ってもらう。



5. マーケットリサーチの協議状況

- マーケットリサーチの実施状況について報告します。
 - 本田航空、S財団、Tコーヒーについては、委員長・事務局が各団体に訪問、Mバーガー、J鉄道については、事務局が電話にてヒアリングを行いました。
- ※Tコーヒー、Mバーガー、J鉄道については、昨年度の東京デザイン専門学校のプレゼン企画(案)の対象となっていた企業です。

団体名	協議結果
本田航空	・7、8月に各1回であれば、中池広場の草刈りに協力可能 ・今後、助成金により乗用草刈機など追加購入できる段階になったらあらためて保管場所としての倉庫設置について協議させてもらう
S財団	・引き続き協議中
Tコーヒー	・商品パッケージは売上等に直結するのでハードルが高い。また、壁紙も費用負担が大きいので難しい ・チラシの設置は比較的ハードルが低い。デジタルサイネージの設備があれば、映像を変えるだけで済むので対応しやすい ・自然再生地の近隣店舗で、店舗でのワークショップ開催について担当者と協議中
Mバーガー	・本社所在地での地域貢献活動に留めているため、現段階での連携協働は難しい
J鉄道	・ポスター等は有料で対応しており、少なく見積もっても数十万円の費用がかかるため、無料での対応は難しい

※エコプロ2020はオンライン開催となり、各自で参加（視聴）となりました。

<エコプロ2020の開催概要>

【開催日】	2020年11月25日（水）～28日（土）（会期後、12月25日（金）までアーカイブを公開）
【時間】	コアタイム10:00-17:00
【主催】	日本経済新聞社、（一社）サステナブル経営推進機構
※入場料：	無料（登録制）

6. 2021年度の保全管理活動計画(案)

●2021年度の保全管理活動計画について提案します。

2020年度に引き続き、これまで協働・連携実績のある対象者については継続・発展を、検討中の対象者については協働・連携の具体化を、そして新たな対象者の検討を実施します。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケット リサーチ										8~10日 : エコプロ 2021			
		適宜実施											
協働・ 連携	つばさ北 小学校		上旬：環境学習① ：環境学習②				下旬 ：環境学習③				●		
	学校関係 桶川西高 校	29日(祝・木) かわしまはるかぜ ウォーク	8日(日) おけがわ春 のふれあいフェスタ					2日(土) (予備日3日(日)) 秋イベント：科学部・放 送部協力依頼	上旬 ：上尾市パネル展 23日(祝・火) ：川島町農業商工祭				
	寺デ 門ザ東京 学イ校ン		オリエンテーション		成果発表	表彰式		2日(土) (予備日3日(日)) 秋イベント：成果反映					
	NPO・ 民間企業 等					15日：(公財)サイサン 環境保全基金 助成申請〆切							
		適宜実施											

3. エコロジカルネットワークの取り組みについて

1. サクラソウ移植対象地

- 荒川流域のエコロジカル・ネットワーク形成において自然環境の核となる自然再生地の湿地環境を保全・再生する取り組みとして、中池の④中池サクラソウ移植地（下赤枠）において、サクラソウ群落を移植します。

②中池広場対岸

中池広場対岸は、オギ群落周辺にオオブタクサ等の外来種の再繁茂が見られるため、「オギ原の形成」を促し、ホンドカヤネズミやオオヨシキリなどの生息空間とする。

③中池奥広場

水際のシンジュ伐採跡地は、1) 水辺へのアクセス性を活かし低茎草地（河原草地）の育成、また、2) クヌギ林などの河畔林を育成し、オオムラサキなどの生息環境を維持する。

中池（荒川旧流路）→

中池
（入口）

①中池広場

中池広場は、オオブタクサ等の外来種の再繁茂が見られるため、「在来種による草地環境の形成」を促し、ギンイチモンジセセリなど乾性草地に生息する希少な生きものが繁殖する場とする。

④中池サクラソウ移植地

中池サクラソウ移植地は、大型草本が優占種となっている中池湿地を「サクラソウ群落の形成」を促す。また、浅い水辺などに生息するトウキョウダルマガエルなど生息環境を維持する。

移植予定範囲

令和2年11月11日
（維持管理作業後）

2. 移植する種と植生管理(案)

移植する種

							
種名	サクラソウ	ノウルシ	チョウジソウ	ノハナショウブ	アサザ	ヌマトラノオ	トモエソウ
株数	約50株	約20株	約30株	約10株	約5株	約15株	約10株
花期	4～5月	4～5月	4～5月	6～7月	6～9月	7～8月	7～8月

【写真】

ヌマトラノオ: 松江の花図鑑、
トモエソウ: 改定しまねレッドデータブック2013植物編

植生管理

■モニタリング調査

- ・4月中～下旬 サクラソウ・ノウルシ・チョウジソウ: 生育株数及び開花株数の調査
- ・6月 ノハナショウブ: 生育株数及び開花株数の調査
- ・7月 ヌマトラノオ・トモエソウ: 生育株数及び開花株数の調査

■維持管理方法

- ・4月～10月 外来植物の駆除: 移植地周辺の外来植物の駆除を月1回程度の頻度で実施します。
- ・11月～1月 除草: 翌春の日照条件確保のため、地上部が枯れた後の地表面の除草を月1回程度の頻度で実施します。

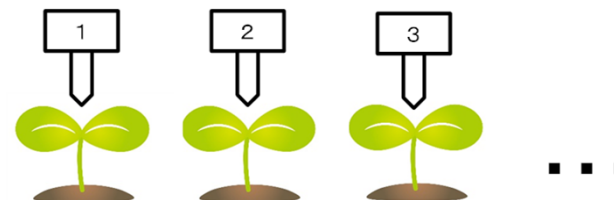
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来植物の駆除												
除草												

■その他

- ・今回の植栽はごく一部の取組であり、今後4-5年間程度は継続した植栽などの取組が必要と考えられます。

盗掘対策

- ・移植した植物の株毎にナンバリングを行います。具体的には、移植植物付近に、ナンバリングされたプレートを設置します。



3. 2月24日の移植計画(案)

移植計画

項目		内容	備考
実施概要	日時	2021年2月24日(水) 9:45~11:15	雨天延期2月26日(金)
	目的	・荒川流域の自然環境のネットワークの核となる太郎右衛門自然再生地の湿地環境を保全・再生することにより自然環境全体の質的向上を図り、エコロジカル・ネットワーク化を推進すること	
	参加者	・つばさ北小学校4年生(30名) ・関係者(以下予定) サイサン環境保全基金、S財団、Tコーヒー、本田航空、大和ハウス工業、上尾ものづくり協同組合、自治体(上尾市、桶川市、川島町)、協議会委員、その他マーケットリサーチ先	緊急事態宣言が解除されない場合はつばさ北小のみとする

全体プログラム

つばさ北小学校			関係者		
時間	場所	プログラム内容	時間	場所	プログラム内容
9:45 (15分)	バス 八保公民館→ 自然再生地・中池	■オリエンテーション(バス車内) ・挨拶、スタッフ紹介 ・前回のふりかえり ・移植する植物と移植方法の説明	9:45 (15分)	自然再生地・ 中池 (サクラソウ 移植地)	■受付開始
10:00 (15分)	徒歩移動（駐車場所→自然再生地（サクラソウ移植地））		10:00 (15分)		■開会 ・挨拶（3分）：浅枝会長 ・本日の流れ（2分）：事務局（日生協） ・サクラソウ移植地の取組の方向性と移植する植物の説明（10分）：小川委員
10:15 (30分)	自然再生地・中池 (サクラソウ 移植地)	■サクラソウ等の移植作業 ・児童への挨拶（2分）：浅枝会長 ・たねのお返し式(5分)：堂本委員長、児童代表 ・移植方法の説明後に移植作業（20分） ・記念撮影（3分）	10:15 (30分)		■サクラソウ等の移植作業 ・児童への挨拶（2分）：浅枝会長 ・たねのお返し式(5分)：堂本委員長、児童代表 ・移植方法の説明後に移植作業（20分） ・記念撮影（3分）
10:45 (15分)	徒歩移動（自然再生地（サクラソウ移植地）→駐車場所）		10:45 (12分)		■閉会 ・出席者より一言（10分）：各団体1名 ・挨拶（2分）：浅枝会長 ・解散
11:00 (15分)	バス 自然再生地・中池 →八保公民館	■説明：活動の振り返り ・活動を通じた質問に委員が回答			
11:15	八保公民館 到着	■終了			

4. 協議会協力者への身分証の発行について

協議会協力者への身分証の発行について

- 長畑委員から、ご自身が所属の組織において、太郎右衛門自然再生地で活動を行いたい旨、提案・相談がありました。
まだ私案とのことですが、具体的内容は以下のとおり。
 - 1) 太郎右衛門自然再生地で昆虫調査を実施したい（下表の1・2）。結果については報文でまとめるとともに、協議会に報告する。
調査に際しては身分を証明できるものがあると良いので、協議会が保有している「腕章」を借用したい。
 - 2) 太郎右衛門自然再生地で親子による昆虫採集観察会を実施したい（下表の3）。詳細はあらためて相談したい。
- 長畑委員およびご所属の組織との連携については、第49回協議会で方向性が承認されています。このため、以下の方針を提案します。
 - 1) 長畑委員所属の組織による太郎右衛門自然再生地における昆虫調査に対し、**協議会から調査実施を依頼し、データの報告を頂くことを条件**として、協議会による「身分証」を作成・貸与します。

（腕章の貸与は、協議会委員以外の方にお渡しすることになるので、見送ります。）

なお、民地へ立ち入らないなど、通常のルール順守を前提とします。

ただし、学術的な調査であることから、必要最小限の生物の採集行為は認めることとします。



身分証（案）

- 2) 親子による昆虫採集観察会については、長畑委員と協議会運営事務局で適宜協議を行い、細部を詰めていきます。

■長畑委員の所属組織における太郎右衛門自然再生地を活用した企画案（未確定）の概要（2020.4聞き取り）

番号	主催団体	活動名称	活動時期、期間	活動内容	特長	備考
1	埼玉昆虫談話会	夜間昆虫調査会	4月～3月 夜間、1～2回/月 程度	誘蛾灯に誘引された昆虫（主に蛾）を採集して、結果を報文にまとめる	当地に生息する昆虫（主に蛾）をリストアップできる	埼玉昆虫談話会の会誌に報文を投稿予定
2	埼玉昆虫談話会	任意昆虫調査	4月～3月 頻度は実施者の任意	自然再生地を巡回・採集して、結果を報文にまとめる	多人数の昆虫セミプロによる調査により、多くの昆虫がリストアップできる	
3	日本昆虫協会	親子昆虫採集観察会	6～7月の間の1～2日	対象地域を巡回し、採集/標本作製を行う。必要に応じて長畑が報告する		

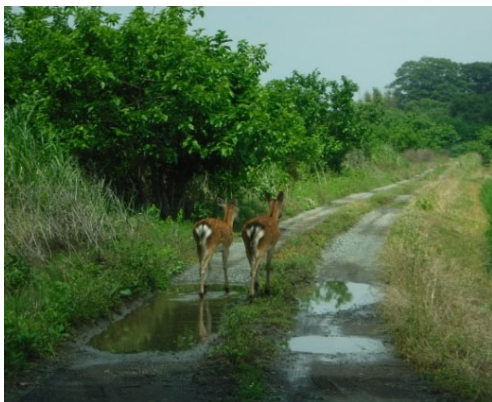
5. ニホンヅカについて

ニホンジカについて

これまでの目撃情報と川島町の対応

- 2019年度に、荒木委員と川島町農政産業課よりニホンジカ確認情報のご提供があり、その後、河川巡視や調査などでも確認されました。
 - 川島町からの情報では、農業被害などが発生していることから、2019年12月1日から1月31日まで、「くくりわな」を荒川河川敷に設置（太郎右衛門自然再生地と三ツ又沼ビオトープの間のあたりに8個）しましたが、捕獲はされなかったとのことでした。
- 2020年度は、稲の葉の食害が報告されたことから、県と町で調整の上、10月下旬に三ツ又沼ビオトープ周辺の茂みに囲い罠1台、くくり罠7台を設置したとのことでした。2月8日時点の情報では、12月下旬までの設置予定を延長したものの捕獲は無く、今後については設置場所の変更も含め検討中とのことでした。

2019年6月25日の河川巡視



2019年度の川島町による
くくりわなの設置状況



2020年度の稲の葉の食害状況※



※川島町農政産業課提供写真

ニホンジカについて

協議会におけるニホンジカへの対応

●ニホンジカについては、川島町と十分な情報交換の上、協議会としての対応を検討する必要があると考えられます。

参考：各主体におけるニホンジカへの対応状況

主体	根拠	内容	太郎右衛門自然再生地との関係	備考
国	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	鳥獣の捕獲等の規制 鳥獣捕獲等事業の認定 狩猟制度等に関する事項を規定	(直接は関係しない)	
埼玉県	第2次埼玉県第二種特定鳥獣管理計画	生息状況、植生、農林業被害の発生状況等の把握 個体数の調整、被害防除対策、生息環境の整備等の対策	(直接は関係しない)	管理区域は17市町村が該当(桶川市・川島町・上尾市は含まない)
川島町	川島町鳥獣被害防止計画	囲いわな等の整備、設置 捕獲従事者の育成、研修会の開催	わなの設置	捕獲実績は無し 計画は令和2年度に3頭
河川管理者	河川法	ニホンジカについては他の生物と同様に下記のような事項が懸念される場合に対応 ①施設管理上の障害(堤防の穴開けなど) ②利水上の障害(水質汚染など) ③河川利用者にケガ等の危険	(直接は関係しない)	荒川下流では③の懸念により、2020年6月3日に足立区・警視庁により捕獲が行われた
自然再生協議会	自然再生推進法	昭和初期頃の旧川周辺の湿地環境の再生	ニホンジカの生息状況について、再生目標とする年代の生息状況の確認が必要	江戸時代には平野部にも生息していたとされる。



第2次埼玉県第二種特定鳥獣管理計画(ニホンジカ)の管理対象区域(緑の範囲)と太郎右衛門自然再生地(●)